

第6回産業厚生常任委員会 会議記録

日 時	開会	令和4年9月6日(火) 午前10時00分				
	休憩	11:20～11:30 / 12:05～13:00 / 13:45～14:00 / 15:00～15:10 / 16:15～16:20				
	閉会	令和4年9月6日(火) 午後5時00分				
会議場所	斜里町総合庁舎3階 委員会室					
出席委員	委員長	宮内 知英		委員	山内 浩彰	
	副委員長	櫻井 あけみ		委員	佐々木 健佑(オンライン)	
	委員	小暮 千秋		委員	須田 修一郎	
欠席委員	なし					
行政職員	病院事務部長	芝尾 賢司		病院事務次長	武山 和史	
	産業部長	茂木 公司		農務課長	伊藤 智哉	
	水産林務課長	森 高志		商工観光課長	河井 謙	
	建設課長	荒木 敏則		水道課長	榎本 竜二	
	民生部長	高橋 佳宏		住民生活課長	武山 和人	
	保健福祉課長	玉置 創司		子ども支援課長	鹿野 美生子	
参考人						
傍聴者数	一般者	名	報道関係者	名	議員	名
事務局職員	事務局長 平田 和司		議事係長 竹川 彰哲			
産業厚生常任委員会を開催したので下記により記録する。						
記						
1. 9月定例会議案件について						
(1) 国保病院所管案件について 10:00～10:16						
・令和4年度斜里町病院事業会計補正予算(第2回)について						
説明: 武山事務次長						
・配布物(病院だより、紹介パンフレット)						
【質疑等】						
櫻井: 医療機器の更新について起債充当が可能になったものの内訳は。						
武山: 例えば金額で30万円以上だとか、機械のうち減価償却によって対象になる、ならないだとか、様々であるが、当初予算の中ではそれらを金額の5%程度と見込んでいた。しかし、最終的にそれらの全てが認められることとなった。						
小暮: 会派の時に別件でも聞いたが、あまり明確なものではないという事か。						
武山: 当初の段階ではより安全な方法として見込んでいた。						
(病院だより)						
宮内: 森下医師も着任し、整形外科も始まったが、一方ではコロナ禍という事で病院に受診しず						

らいという声も聞くが、その辺はどのように捉えているか。

芝 尾：言っている内容が良くわからないが、コロナ禍という事での受信控えのことかと思う。
確かに2年前ではコロナ禍という事による影響もあったが、徐々に回復基調にあり、現状においては比較的安定している。

宮 内：入院制限だとかもあったはずだが、そのへんとの絡みはどうか。

芝 尾：確かに、今回7月下旬から8月上旬には入院制限や退院についても伸ばしてもらうようなこともあったが、あくまでも臨時的な措置だった。現状ではすでに安定した状況になっている。

宮 内：病院としてもっと積極的にコマースなど行なう事も必要ではないか。

芝 尾：病院なので、なかなかウェルカムという事は言いづらい。
コロナに関わらず、普段から町民に対しては係りつけ医として考えてもらいたいとは考えている。

(2) 産業部所管案件について 10:24~13:45

全体説明：茂木産業部長

1) 斜里町一般会計補正予算(第5回)について

説明：伊藤農務課長、河井商工観光課長、荒木建設課長、榎本水道課長

【質疑等】

宮 内：シスト抵抗製植物の栽培状況はどのようになっている。

伊 藤：イネ科の除草剤だが、この2年間実証試験の結果での効果があったかどうか不明な部分もあるが、現場としてはやはり除草剤が効果的だという事からこれを今後も継続していく。

宮 内：面積的にはどれくらいあるのか。

伊 藤：12ヘクタールとなっている。(後刻、120ヘクタールに訂正)

宮 内：助成は対抗植物の分か。

伊 藤：そのとおり。圃場の数としては60圃場あるうち対象となるのは40圃場。

宮 内：対抗植物の効果検証は？

伊 藤：毎年行なっているが%でいえば69%くらいで効果があったと聞いている。
令和元年度は45%だったということから効果は上がっていると思われる。

須 田：今、玉ねぎが随分と高いが作付面積を増やすという事はどこかを減らすという事か。

伊 藤：今までは4畦(けい)から5畦(けい)プランターに対応することを試験的に行うものだが、そのことにより将来的に確立されたら作付面積の増という事にも繋がる。

須 田：そういうことは普及所で行なうものではないのか。

伊 藤：普及所の業務とはならない。やはりJAなどで行なっていくもの。

小 暮：漁港整備について、なぜ不採択となったのか。

部 長：北海道の行う事業に対して町が負担金を支出するものだが、財政的な部分という事。

宮 内：それは財源的な問題なのか。事業の中身は？

部 長：町の財政ではなく、北海道の財政的な事情により事業が行なわれなかったという意味である。町の財政には関係しない。事業内容としては、斜里漁港は用地内舗装、知布泊漁港は

3. 5 m岸壁と船上場の整備。

宮 内：操業に影響はしないのか。

部 長：特に影響はしない。

櫻 井：今回、釣りの問題でかなりの規制が厳しくなったが、この規制に関して根拠的な部分、課題も多々あると思う。網走の事故や、マナー、ゴミの問題、知布泊漁港でも様々な取り組みもされてきた中で規制の根拠と産業的な繋がり、やはりこれだけの方が来町すると買い物や宿泊など経済効果も大きなものであり、観光施策との連携としても難しい部分と思われる。

釣りのイメージも以前は年寄りと思われていたが、今ではレジャーとして若い人や女性も増えていることを考えるとレジャー的要素が高く、釣りをする人たちには残念、片や観光としては夏から秋の端境期の集客を見込む上では重要とも思われる。

部 長：この関係では様々な点があるなかで、詳細については水産林務課長がいいため、承知していない部分もあるが、やはり地元漁業者等からも規制の声を望まれており、そのような中で今回は海区漁業調整委員会も加わり規制の動きが強くなった。やはりこれまでの状況が悪かったという面から、改善を図ることではあるが、ご指摘のとおりレジャー的要素もある中で予想よりも厳しい規制になった。

櫻 井：予想以上ということだが、今まで町としてこういう人達に呼びかけるなどの取り組みをしていたのか。

部 長：今回、協議会の中では釣り客に対してアンケート調査を行なっている。早いか遅いかという問題はあるが、今後その結果に基づいて利用する側とも一緒に考えていきたい。

櫻 井：一緒に考えて取り組むということとは思えない。規制だけしてきたと思うが、この中で資源確保という面もあるなかではルール作りも必要ではないのか。今回バズっと規制を始めたことはどうかと思う。キャンセルも増えている状況を考えてもよいのでないか。水産の立場としては判るが、産業的にはどうなのか。

部 長：今回の規制は北海道も関わっている中では、全道的な取り組みとして進められていくとなると、それに従うという事になる。今後の進め方を見定めていきたい。

櫻 井：ウトロ漁協のサケ養殖事業の件だが、現状での具体的な状況はどうなっているのか。

部 長：詳しくは承知していない。

櫻 井：大きな研究機関などとも連携することも必要と思うが。

部 長：ウトロ漁協の状況のなかで考えられるのではないか。

櫻 井：デジタルクーポンに関して、町民に対してどのように登録を推進するのか。

河 井：登録という事が発生するものではない。URLで読み込み画面を開くだけのものである。

櫻 井：以前のまんぷクーポンのように紙ベースではないのか。なぜ、スマホでは14,000円で、ポテトカードでは12,000円なのか。

河 井：デジタル化を推進していくという事。

小 暮：ポテトカード入金だと期限があるがそのような事はないのか。

河 井：プリペイドには期限がないがポイントだとある。

今回のデジタルクーポンでは事前申込制とするが、これは販売時に混乱を避けるためとし

ている。

小 暮：申し込みはどうやって行うのか。

河 井：詳細はまだ検討中である。

櫻 井：デジタルクーポンを使ったら事業者の区分はされるのか。

河 井：商工会でその辺はわかるようになっている。

宮 内：チェックはどのようになっている。

河 井：使用した時に常にチェックする。自社換金をするところもあるようなので、出来ないようにする。

小 暮：事業継続緊急支援事業について対象事業者は30社というのが具体的には？

河 井：北海道の事業対象者となるのが基本。

山 内：デジタルクーポンに関してスマートフォンを使わない方々の対応策はどのように考えているのか。

部 長：新しい取組みとしてはフォローするが、いつまでもという事にはならない。そういうことを脱却することも必要と考える。

山 内：紙にこだわるわけではないが、デジタルに取り残される方の考え方は？

部 長：福祉的な観点から言えばアナログ対応に対するお叱りのことばかもしれないが、デジタル化を推進していくという意味ではそういうものも引っ張っていきたい。

山 内：事業継続緊急支援事業について、農業者で法人なら対象になるのか。

河 井：道の方では対象から外れないが、町では農業者というだけなら対象とならない。

櫻 井：デジタルクーポン、これからのものとしてこれだけでやっていくのか。
ポテトカードの利用は今後の継続運用の見通しは？

河 井：ポテトカードは以前から加入者の増加を図ってきたがなかなか増えなかった。行政が介入しすぎるのもまずいので、一定の支援としてきた。今回はデジタルを推進するためにも差額を付けて実施する。ポテトカードは仕組みがどんどん進化していくのであれば今後の継続性も考えられるが、そうでないのならポテトカードの利用には限界がある。

櫻 井：アクティビティリスク協議会が立ち上げられたが。

河 井：海難事故の信頼回復という面もある中で、何をどうやって行くのかという事もあり、それらを含めて、答えを持っているわけではないが今のままで良いと思っていないので何かしらの協議を進める。

櫻 井：信用失墜、信頼回復についてどのようにしていこうというのか。安全対策については一般質問も行なうが、事業者が考えている部分で欠けている部分を探るのも行政だと思う。

河 井：個々の事業者が関わっていることをもって安全とは言い切れない、気持ちの問題。

櫻 井：気持ちの問題は協議会で改善されるのか。

河 井：それは判らない。

3) 民生部所管案件について 14:00～15:00

全体説明：高橋民生部長

【条例】

- 1) 斜里町地域福祉計画審議会設置条例の一部を改正する条例について【資料1】
- 2) 斜里町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について【資料2】
- 3) 斜里町健康増進計画審議会設置条例の一部を改正する条例について【資料3】て（住民生活）

説明：玉置保健福祉課長、鹿野子ども支援課長

【質疑等】

小 暮：業務内容の変更はどのようになるのか

玉 置：保健福祉課では保健推進が健康子育てに分課する。子ども支援課はない。

櫻 井：フローチャートのような資料があればよい。できれば本日欲しいが。

部 長：今日のものにはならない。全員協議会で説明するのでその時には用意したい。

小 暮：社会福祉費で心身障がい者日常生活扶助費について、先の一般質問でのものか。

玉 置：出来るだけ早く試してもらいたいとして対応した。

小 暮：周知はどのように？

玉 置：現在1人が使っているのは承知している。まずは試してもらうことを考えている。

櫻 井：厚生病院の負担金は去年と同じくらいか。

玉 置：今年は上がった。

2. 意見書の取扱いについて

説明：事務局長

(1) 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について

- ・関係団体から担当課に送付がされているが、同様のものが道議長会からも送付がされてきたため、委員会での取り扱いとした。

(2) 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書について

- ・北見市に所在する「民主商工会」が9月2日に来庁し議長に対して意見書取り扱いの要請を受け、受理したもの。扱いを産業厚生委員会での検討とすることとされた。内容的に十分な精査、調査が必要と判断し、9月定例会では間に合わないため12月定例会議に向けて調査する。

(決定事項)

(1) について、提出者は櫻井副委員長とし、賛同者は総務文教常任委員会に提出者から依頼する。

(2) について、12月定例会議において提出するかどうか取扱いの判断を委員会で調査する。

3. 子育て医療費還元に係る協議について

- ・先に委員会で宮内委員長と議長による協議を行なう事を確認していたことから、8月24日に行なわれた協議内容について、委員長からの報告を受け、今後の取扱いを協議した。

- ・宮内委員長からの報告では議長から別紙の様な回答を得た。このことから委員会の扱いとしては一般質問によることでの手法とすることで同課の確認がされた。

- ・委員長の意見に対して、道内所管事務調査で判明した事例を「政策提言」という形で行政に伝えたいという意見が3名の委員から強く示されて、議会として、又は委員会として、全国的な事例でも多くみられる「政策提言」という形で行ないたい。

- ・この結果から、正副委員長と議長による協議を行なう事とし、副議長（須田委員）もこれに同席

することとし、協議を行なう日程等は事務局で調整することとした。

(決定事項)

- ・正副議長と正副委員長との協議を9月13日(火)午前10時から行なう。

4. 町内所管事務調査について

- ・日程について確認した。調査箇所について定例会議日程の委員会開催を予定し、その際に確認することとした。

(決定事項)

- ・日程は10月20日(木)。調査箇所は次回委員会(9月15日予定)の際に各委員の意見を聞くこととした。

資料：03 [病院・資料] R4.9 説明資料

03 [産業部・資料0] 委員会説明資料

03 [産業部・資料1] 一般会計補正予算【農務課】

03 [産業部・資料2] 一般会計補正予算【水産林務課】

03 [産業部・資料3] 一般会計補正予算【商工観光課】

03 [産業部・資料4] 一般会計補正予算【建設課】

03 [産業部・資料5] 公共下水道特別会計補正予算【水道課】

03 [産業部・資料6] 水道事業会計補正予算【水道課】

03 [産業部・資料7] 町政報告【農務課】

03 [産業部・資料8] 町政報告【水産林務課】

03 [産業部・資料9] 町政報告【商工観光課】

03 [民生部・資料0] 委員会説明資料表紙

03 [民生部・資料1] 地域福祉計画審議会条例改正資料

03 [民生部・資料2] 子ども子育て会議条例改正資料

03 [民生部・資料3] 健康増進計画審議会条例改正資料

03 [民生部・資料4] 一般会計補正予算【住民生活課】

03 [民生部・資料5] 一般会計補正予算【保健福祉課】

03 [民生部・資料6] 一般会計補正予算【子ども支援課】

03 [民生部・資料7] 一般会計補正予算【通園センター】

03 [民生部・資料8] 国民健康保険特別会計補正予算【住民生活課】

03 [民生部・資料9] 介護保険事業特別会計補正予算【保健福祉課】

03 [民生部・資料10] 後期高齢者医療事業特別会計補正予算【住民生活課】

03 [民生部・資料11] 町政報告概要

03 [民生部・資料12] 介護認定者等のサービス利用状況【保健福祉課】

03-1 [資料] R4 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

03-2 [資料] 的確請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書

03-3 [資料] 子どもの医療費

03-4 [資料] 委員会の政策立案

音声データ：04 [音声] 220906_第6回産厚委員会